

豊田市議会 平成 23 年3月定例議会報告

豊田市議会議員 作元志津夫

1. 3月定例議会について

(1) 平成 23年度 当初予算

	H23	H22	増減	率 (%)		H23	H22	増減	率 (%)
市 税	842	787	55	6.9	議会費	10	8	2	31.7
個人	277	261	16	6.1	総務費	213	191	21	11.2
法人	48	20	28	142.3	民生費	473	444	29	6.6
固定	382	376	6	1.6	衛生費	160	137	23	16.9
その他	135	131	4	3.4	労働費	9	9	▲1	▲5.9
地方交付税	30	59	▲29	▲49.7	農水費	27	27	▲1	▲2.6
国庫支出金	269	243	26	10.5	商工費	37	37	0	▲0.6
繰入金	111	136	▲25	▲18.5	土木費	267	274	▲7	▲2.5
市 債	130	130	0	0	消防費	59	60	0	▲0.8
その他	209	201	8	4	教育費	220	249	▲29	▲11.7
合 計	1,590	1,556	34	2.2	その他	115	120	▲4	▲3.6
うち自主財源	1,075	1,042	34	3.3	合 計	1,590	1,556	34	2.2

【予算の特長】

【歳入について】

(1) 市税は、全体で 842 億円、前年 55 億円の増。

・個人市民税は、277 億円、給与所得の伸びで前年 16 億円増。

・法人市民税は、48 億円、企業の回復で 28 億円の増。

・固定資産税は、全体で 382 億円、地目変更・新築で 6 億円の増。

(2) 国庫支出金は、189 億円、子ども手当・生活保護費負金の増加で 19 億円増。

(3) 繰入金は、111 億円。市債は、130 億円で豊田市版プライマリーバランスの黒字化を解除。

【歳出について】

「まちづくり基本戦略プラン」に掲げられた取組の推進により財務体質の強化を図りつつ、引き続き子育て、福祉、保健医療、教育、安全・安心など市民生活に直結する施策の事業費確保を最優先するとともに、将来のまちづくりに必要な投資額を確保するため、普通建設費事業費を始めとする投資的経費を 308 億円確保

2. 主要事業の紹介

①新規バス路線開設費 (4,492 千円)

○ 上郷地区⇄高岡地区

愛知環状鉄道「三河上郷駅」と名鉄三河線「若林駅」間に鉄道駅、学校、病院などを連絡する路線を新設し、公共交通空白地域の解消を図る。



②次世代自動車の購入支援の拡充等【一部新規】

(512,200 千円)

○ プラグインハイブリッド車(PHV)の市販開始に伴い、PHVの補助上限額を新たに設定し、次世代自動車の普及促進を図る。

対 象：市民、市内事業者

補助額：車両本体価格の5% (上限15万円)

※その他の次世代自動車は、上限10万円



③保育ママ事業【新規】(18,862 千円)

○ 待機児童対策の緊急的なモデル事業として、保育ママと市の共働による保育を実施。

- ・ 対象：こども園入園待機となった生後6か月～2歳児
- ・ 場所：上郷こども園・野見こども園

保育ママ：保育所等の勤務経験又は子育て経験があり、市の養成講座を受講し認定を受けた市民



④犯罪多発地区、犯罪弱者対策 (51,469 千円)

○ 犯罪多発地区対策

- ・ 自動車関連窃盗と住宅対象侵入盗が多発する小学校区を中心に、青色回転灯装備車両による深夜パトロールを実施。

○ 犯罪弱者対策

- ・ 主要駅及びその周辺のパトロールを実施。

下校時の見守り活動により、子どもの安全を確保。



⑤足助病院改築事業補助【新規】(941,000 千円)

○ 足助病院（厚生連）が行う改築に伴う施設・医療機器の整備に対する補助。

(H23～25 年度の補助予定額 2,261,000 千円)



3. トピックス

議会として議会報告・シンポジウム開催

＝豊田市の議会改革＝

市民への「議会報告会」「シンポジウム」「市民アンケート」を実施。

- ・ 豊田市議会基本条例第 15 条に規定している「市民の議会活動への参画の確保」の実効性を図る。

○ 市民に説明する

○ 市民と共に考える

○ 市民の意見を把握する

○ 地域市議会報告会の実施（1 回/年）

○ 市民シンポジウム・研修会（1 回/年）

○ 市民アンケート（2 年に 1 回）

※市民意識調査に合わせて実施。

＝要綱の作成＝

○ 豊田市議会報告会要綱

○ 豊田市議会市民意識調査実施要綱

